



日本JCシニア・クラブ

SENIOR CLUB

かみよ

LOMは神代の昔から?! 祭りに想う「人と人の繋がり」の大切さ。



毎年10月の最終土・日は宮崎県民から「神武さん」の愛称で親しまれている宮崎神宮の大祭の日です。大祭のメインは時代行列です。宮崎神宮は「古事記」「日本書紀」に初代の天皇と記されている神武天皇が祀られてありますが、その神武天皇が日向の地を離れ、日本国を統一するための都を求めて、奈良県の橿原宮まで海路を東へ上った故事にのっとって、「おきよ丸」と呼ばれる古代の舟を引つ張りながら古代衣装の武人が宮崎市のメインストリートを行進します。その古代の武人役をシニアクラブのメンバーが毎年かつて出ているのです。

シニアメンバーでも古代衣装となりますと良く似合う人とまったく似合っていない人があります。過去よく似合った人の代表は本年度日本JCシニア・クラブ筆頭世話人代表を務めておられる1



写真左から日本JCシニア・クラブ 筆頭世話人代表の川越宏樹君、'94JCI副会頭の佐藤嘉信君。



一休童会 (S19年生) 300回記念例会。

対にそのりつばなヒゲが古代との違和感を大きくしていたのが1994年JCI副会頭の佐藤嘉信さんでしょう。

またこの行列が行進するメインストリートの「橋通り」は「記紀」にイザナギノミコトが黄泉の国から逃げ帰ってみそぎをしたところと記されている「筑紫の日向の小戸の橋の阿波岐原」のまさに「橋」にあたります。

かくのとおりで宮崎JCは神代に近いところにあります。そんな訳でもないでしょうが、宮崎JCの創立は1951年で九州では1番目、全国でも26番目、シニアクラブも1962年で全国でも早いでしょう。また1982年のASPPACの開催は国内で6番目でした。

しかしながら何事も早ければ良いというものではありません。現実の宮崎はというと有効求人倍率で全国0.45

988年日本JC会頭の川越宏樹さんでしょう。その堂々たる体格がなんともはまつておられました。対にそのりつばなヒゲが古代との違和感を大きくしていたのが1994年JCI副会頭の佐藤嘉信さんでしょう。

宮崎JCシニアクラブ
会長 後藤 健治
日本JCシニア・クラブ
筆頭世話人代表
川越 宏樹



「おきよ丸」を曳いて宮崎市内を行進、船上の天皇に扮するは元会長の米良先輩。